

秩父神社・芝桜の丘map

散策メモ

武甲山は奥武蔵の名峰と呼ばれる美しい山だったのだが、良質な石灰石が採掘できるため、山の山頂から斜面にかけ大きく削り取られ、山容は変わってしまった。しかし秩父の経済を助け市民の生活を守ったこの山は、町のシンボルであることには違いない。

秩父織物と並んで秩父を支えたセメント産業。その中心企業だった秩父太平洋セメント株式会社の工場跡。セメントの重要な材料である石灰岩は1940年代から本格的に採掘が始まり、あっという間に武甲山の見た目を変えた。工場跡は「産業遺産」として、一部の廃墟ファンを魅了したが、解体され現在は更地となっている。

秩父太平洋セメント第一工場跡

秩父神社の例大祭「秩父夜祭」は、日本三大曳山祭の1つに数えられている。毎年12月2日、3日に開催。

明治から昭和初期にかけて建築された、モダンな町並みが残る。

大正6年に建築された駅

秩父市街地を一望できる

秩父といえば、秩父夜祭、武甲山、くるみそば、わらじかつ井、芝桜。西武秩父駅前のロータリーから、白い山肌を見せた武甲山がよく見える。

だいたい1月~4月中旬までいちご狩りが楽しめる。

芝桜の見頃は4月中旬から5月上旬


